

令和5年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【2年目】

報告日 令和7年11月25日

| | | | | | | |
|--------|----------|-------------------------------|---|--|---|-----------------------------|
| P T A名 | | 静岡県立浜松特別支援学校 P T A | | | | |
| 学校 | 対 象 | <input type="checkbox"/> 視覚障害 | <input type="checkbox"/> 聴覚障害 | <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 | <input type="checkbox"/> 肢体不自由 | <input type="checkbox"/> 病弱 |
| | 設 置 部 | <input type="checkbox"/> 幼稚部 | <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 | <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 | <input checked="" type="checkbox"/> 高等部 | |
| | 全校児童・生徒数 | 304人 | | | | |

1. 使用状況

| | |
|---------------|---|
| 寄贈物品名 | にこすぽサーキッズセット（運動遊び用具） |
| 使用学年及び人数 | 小学部 1年～6年 128人 |
| 使用頻度 | 週1から週4(学習計画による) |
| 使用状況 | <p>体育では、すべての学年で体づくり運動で使用した。低学年では、機械・器具を使つての運動時に、平均台の代わりに使用した。にこすぽサーキッズ3セットを活用することで、待ち時間を少なくすることができた。そのため、十分な運動量を確保することができ、充実した体育活動を行うことができた。</p> <p>自立活動では、教室よりも広い空間(プレイルーム)で使用した。にこすぽサーキッズセットを2セット組み合わせて使用し、様々な身体の動きの学習を行った。</p> |
| 物品の使用による変化や効果 | <p>既製品の平均台と比べ、高さを低く設定できるため、恐怖心を和らげることができた。また幅も広く、自分でバランスをとりながら渡り切ることができたため、最後まで一人でできたという達成感を味わうことができた。</p> <p>また、教具の組み合わせを工夫して使用することで、いろいろな体の動きをしたり、足元の目標物をよく見てジャンプをしたりするなど、興味関心を持続させながら、主体的に身体活動をすることができた。</p> |
| 今後の活用の見通しや課題 | <p>今後も室内体育や自立活動の学習で使用する。小学部の児童が体の使い方を覚え、体を動かすことが楽しいと感じられる学習活動を展開していきたい。</p> <p>課題としては、使い方のパターン化が考えられる。どのような使い方ができて、どのような効果があったかなど、教員間で情報共有することで、児童にとってより効果的で魅力的な使用が望めると考える。</p> |
| その他希望や所感など | <p>素材が軽く丈夫なため、移動や保管が容易である。教室ですぐに準備をして使用したり、児童が片付けを手伝ったりすることができた。</p> |

2. 活用の様子

【 体育 器具を使つての運動 ～平均台運動～ 】



高さが低く、安心して活動に取り組むことができる。教師がそばにつかなくても、一人でバランスを取りながら平均台を渡り切ることができた。一人でできたことでより達成感を感じることができた。

【 自立活動 身体の動き 】



自分で体を調整しながら、またいだり渡ったりする様子。自分のペースで活動に取り組むことができるため、できたことをより実感することができた。